



海のお仕事体験プロジェクト
in海洋都市神戸（海と日本2024）

実施報告書

.....
<目次>

2024年度 総括	...	1
事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施	...	3
事業内容_2.職業啓発	...	21
事業内容_3.情報発信	...	22

.....

2024年度 総括

総括

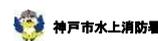
関西圏親子のリアル体験への大きな需要の中で 「海のお仕事体験」への期待感と着実な浸透を実感できる成果が得られた

- プロジェクト3年目として迎えた今年度は、募集開始直後の5,6月時点から参加申込が殺到し、結果的に申込総数は過去最高の2400組5150名以上に上り、関西圏の親子のリアル体験への大きな需要が感じられた。
- 特設WEBサイトは表示回数 179,000回以上・総ユーザー数 12,000人以上と高い注目を集め、公式LINE会員も関西圏で1,000人を突破し、「海のお仕事体験」に寄せられた高い期待と取り組みの着実な浸透を実感できる成果が得られた。



海洋都市神戸の街を上げた取り組みとして、 規模拡大と一体性の強化に成功し、プロジェクトを前進させることができた

- これまでの実績から新たに海上保安庁（神戸海上保安部、大阪湾海上交通センター）や消防局（神戸市水上消防署）など、全国的にも貴重な連携を実現し、また、食品メーカーのフジッコや造船大手の川崎重工他、知名度の高い大企業とのネットワークも多数獲得し、取り組み規模を大いに拡大し、プロジェクトを前進させることができた。
- 全24の多数の企業・団体等と早期から交渉・調整を行った結果、近隣小学校の夏休みが始まる7/20(土)から8/12(月・祝)までの24日間に、全41回のうち37回のお仕事体験の集中開催を実現し、神戸の街を上げた取り組みとしての一体性を高めることができた。



夏の自由研究と絡めた施策展開により、 お仕事体験の教育的価値の深堀と参加親子との関係値構築に成功した

- 小学校の夏休み課題の自由研究の題材として「海のお仕事」を参加親子に提案するとともに、後日気になったことなどを質問できる受付窓口の設置や、個別フィードバックや景品を用意した自由研究コンテストの開催などを通じて、子どもたちの事後学習フォローを強化。
- 子どもたちの知的探求の入口としてのお仕事体験の教育的価値を深掘りするとともに、参加親子との継続的・双方向的な接点が構築され一歩進んだ関係性の構築にも成功した。



全14種類の神戸の海の仕事を紹介する副教材を神戸市内全公立小学校へ配布し、 子どもたちが海の仕事に興味を持つ機会を創出できた

- 五洋建設株式会社の協力の下、今年新たに「海洋土工工事の現場監督」の仕事を紹介するページを追加し、取り上げる海の仕事の幅を広げることができた。
- 表紙、裏表紙をはじめ、冊子全体のデザインを調整したことで、まとまりのある教材に仕上げることができた。



2024年度 総括

目標と成果

【目標】

- ・本事業のブランド信頼性及び波及力強化
- ・新規体験コンテンツ開発：5 職種以上
- ・海の体験・見学・研究に関わるプログラム開催：20 職種・25 回以上
- ・副教材配布：150 校・12,000 名以上

<プログラム開発・開催>

<啓発・情報発信>

新規開発 全 9 職種

WEBサイト閲覧 表示回数 17.9万 回以上・総ユーザー数 1.2万 人以上

開催本数 全 23 職種・41 回

メディア露出 TV 1 社・新聞 3 社・その他WEB媒体等 多数

連携者数 全 24 の企業・団体等

LINE会員数 1,000 人 以上 ※関西圏ユーザーに限る

参加人数 親子 357 組 750 名 以上

事後学習 全 16 の自由研究作品

申込人数 2400 組 5150 名 以上
※抽選・キャンセル待ち申込を含む

副教材 神戸市内全公立小学校 164 校・14,000 部 配布

課題と展望

現状と課題

今後の展望

体験目的
テーマ設計

- 現在、全国で展開しているお仕事体験は、“現在”の仕事であり、まずは子ども達に海と社会のつながりを知る機会提供を目的としたプログラムを展開している。今後、より多くの次世代を担う海ごころを持った子どもたちを育むには、さらに海への好奇心や探究心、そして海の可能性や期待感を抱かせることも、お仕事体験プロジェクトを発展させていく中で、展開すべき重要なプログラムの要素であると考え。特に神戸は多様な産業が集積するとともに、海洋に関する先進的な技術開発・研究が進んでいる地域であり、この特性を活かしたい。
- 現在、お仕事体験は小学生を対象に展開しており、相応の評価を得ているが、さらに幅を広げ、中学生以上を対象にした取組みが推進できれば、神戸市が抱える海洋人材育成への更なる効果向上を図ることも視野に入れられる。

生活に紐づく水産や港湾などの仕事のみならず、海洋国家日本を支えてきた海洋文化や伝統・職人・芸能など、“仕事”を広義で捉え、子ども達にあらゆる観点から好奇心を刺激し、海とのつながりを意識させる機会を提供。また、“今を知り・未来を考える”をテーマに、海洋都市 神戸だからこそ実現可能な、将来の海洋資源・エネルギー開発、先進技術などに触れながら、未来への期待感や将来性を感じるお仕事体験プログラムを展開し、海に対する興味関心・好奇心を高め、海に積極的に関わるアクションを起こす子ども達が増える取り組みを目指す。

また、本企画は、相応の理解力や思考力を有した方が有効性が高いと考えられることから、これまでスコープ外であった中学生以上も対象に見据えていくことで、世代を超えたシームレスな海洋教育の実現と、地域における海洋人材不足の課題解決に向けて前進させていきたい。

コンテンツの
更なる活用

- お仕事体験の開催規模を拡大することで、より多くの子ども達が参加できる土壌を増やしてきているものの、今後、更に多くの子ども達が海のお仕事を学び、海を学ぶことのできる機会をつくり、またお仕事体験に参加したことで海への関心が高まり、能動的にアクションを起こそうとする子ども達に向けて、新たなコンテンツの開発や提供できる仕組みづくりを推進したい。
- 体験プログラムの開発過程で明らかになったお仕事の魅力や特徴を、更なる普及啓発と知見集積の観点から、お体験体験の実践の場以外においてもアーカイブすることで、幅広く子ども達がアクセスできる仕組みを構築したい。

「海のお仕事を紹介する副教材(冊子)」に加えて、WEBサイト上でも「海のお仕事」に関わる情報を蓄積・紹介する機能の強化を図る。

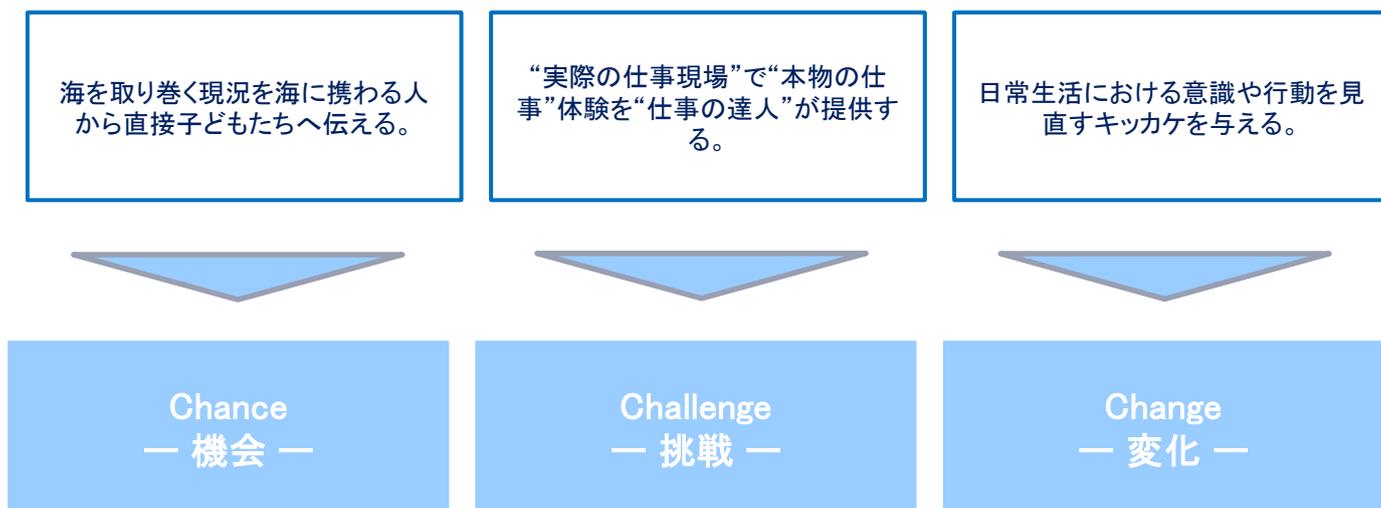
体験を起点に生まれた子ども達の海への興味・関心を広げ、自発的な探究活動や積極的アクションの広がりの喚起を見据えるとともに、体験に参加していないあらゆる子ども達に間口を広げることで、本プロジェクトをより多くの子ども達に海を多面性を幅広く知ってもらうための取組みに昇華させていきたい。

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

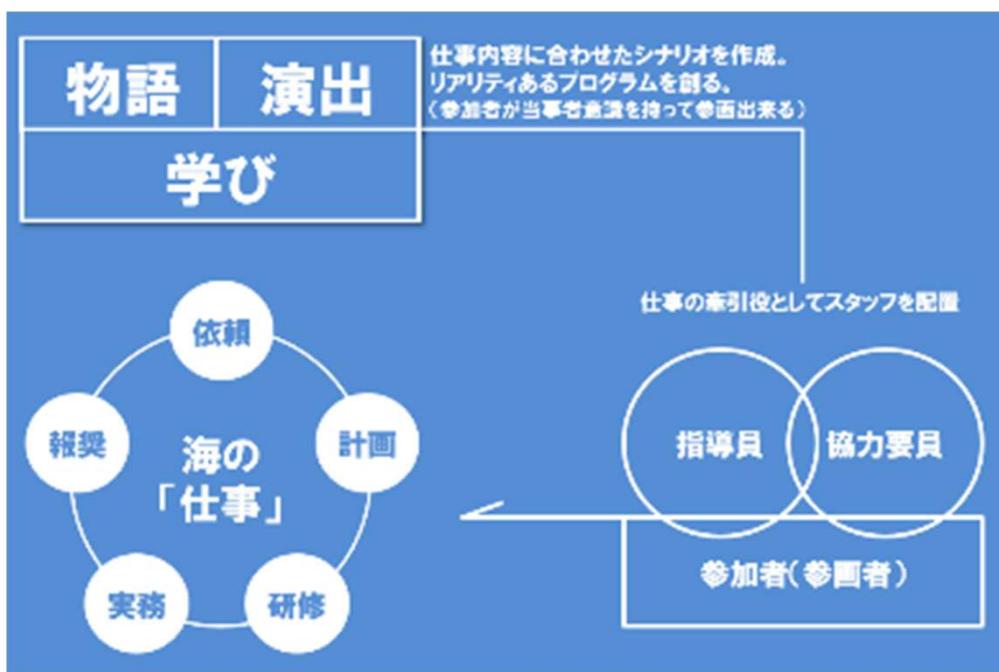
プログラムの開発方針

参加者の体験・学習効果を高める“リアル”なお仕事体験を実現するため、共通テーマに則ってプログラムを開発。「依頼」→「計画」→「研修」→「実務」→「報奨」といった仕事の流れに沿ったシナリオをプログラムごとに作成するとともに、オリジナルの制作物も活用したリアリティのある世界観づくりも大事にしながら事業を推進。

【共通テーマ】“実際の仕事現場”で“本物の仕事”体験を“仕事の達人”が提供する。



開発イメージ



事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

お仕事の流れ

全てのお仕事体験にお仕事の流れを組み込み実施しました。

入社式



自己紹介や挨拶を実施。子どもたちの気持ちを「お仕事モード」に切り替える非日常感を演出。

※各お仕事ごとにミッションを用意し、達成に向かって「研修→お仕事」を行いました。

研修



フリップやホワイトボードを用いた座学の実施。お仕事の前段階として知識の素地を作る。

お仕事



1つの作業体験で終始せず、お仕事ミッションに対して複数の「業務」を実践。

レポート作成



お仕事を実施して感じたこと、学んだことを振り返る時間を設け、記憶と記録に残せるように設計。また、自由研究にも活用できるものとして準備。

給与の受け取り



お仕事を終了した証として、給与(イベント専用のお金)と名刺を授与。

お買い物



イベント専用のお金を使い、地域のお店でお買い物。

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

海のお仕事体験「こどもわーくin神戸2024」開催概要



<開催概要>

期 間	2024年 7月 20日(土)~ 8月 12日(月・祝) ※一部先行・例外開催のプログラムあり
場 所	神戸市内 & 近郊の実際の仕事現場
対 象	小学生のお子様とその保護者 ※一部例外あり

<2024年度実績>

開催本数	全 23職種 ・ 41回
参加人数	親子 357組 750名 以上
申込人数	2400組 5150名 以上 (抽選・キャンセル待ち申込を含む)

プログラム一覧

No.	職種	連携先	日程	本数	参加		申込	
					組数	人数	組数	人数
1	新 海上保安官	神戸海上保安部	6月30日	1	9	24	30	67
2	新 フジツボ・クラゲ調査	(株) セシルリサーチ	7月20日	1	3	6	112	225
3	新 陸上養殖	UR都市機構	7月22日	1	4	9	32	65
4	新 重量貨物輸送	(株) 上組	7月26日	1	6	15	62	127
5	新 昆布の商品企画	フジッコ (株)	7月28日	1	11	22	34	67
6	新 海の管制官	大阪湾海上交通センター (マリンタクトKOBÉ)	8月5日 午前/午後	2	8	17	82	165
7	新 海の未来	古野電気 (株)	8月6日	1	4	8	23	46
8	新 海の消防士	神戸市水上消防署	8月7日	1	16	33	450	901
9	新 水族館飼育員	神戸動植物環境専門学校	8月11日	1	15	34	168	340
10	プランクトン研究員	神戸大学 内海域環境教育研究センター	7月6日	1	11	22	41	82
11	カーフェリー	宮崎カーフェリー (株)	7月6日	1	35	70	202	669
12	遊覧船船長	神戸ベイクルーズ (株)	7月15日	1	2	6	22	47
13	レストラン船	(株) 神戸クルーザー	7月20日~8月12日 の土・日・祝	9	69	145	85	194
14	ライフセーバー	神戸ライフセービングクラブ	7月23日 / 24日 / 25日	3	56	116	76	157
15	おつまみの商品企画	(株) 伍魚福	7月23日 / 25日	2	11	21	29	56
16	漁師	すまうら水産有限責任事業組合	7月26日 / 27日	2	10	20	61	120
17	水中ロボット開発	神戸高専ロボティクス	7月28日 午前/午後	2	12	24	63	126
18	飼育員	外来生物展示センター	7月28日	1	10	20	601	1202
19	コンテナ物流	港湾短大神戸校、商船港運 (株)	7月29日	1	15	31	125	262
20	釣具開発	(株) ハヤブサ	8月2日 / 8日	2	20	45	45	96
21	観光船クルー	神戸シーバス	8月6日 / 9日 / 16日	3	9	19	18	37
22	岸壁調査	神戸高専ロボティクス、 須磨里海の会	8月12日 午前/午後	2	12	27	26	56
23	造船	川崎重工業 (株)	8月27日	1	9	18	26	52
				41	357	752	2413	5159

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

2025新規

1.海上保安官のお仕事



連携	神戸海上保安部
開催日	6/30(日)
参加人数	親子9組24名
内容	<p>【体験テーマ】 海上保安官の様々な仕事を学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 実際に神戸港で従事している巡視艇あわぎりに乗船させていただき、事案発生時を想定した出航訓練と鑑識訓練を体験しました。</p>

2025新規

2.フジツボ・クラゲ調査のお仕事



連携	(株) セシルリサーチ
開催日	7/20(土)
参加人数	親子3組6名
内容	<p>【体験テーマ】 「付着生物」の調査研究に挑戦</p> <p>【体験の流れ】 まずは研修を受けてから、漁港に生息するフジツボ幼生の調査、飼育しているフジツボやクラゲへの餌やり、生物試験の準備部分の体験など様々な業務を体験しました。</p>

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

2025新規

3.陸上養殖のお仕事



連携	UR都市機構
開催日	7/22(月)
参加人数	親子4組9名
内容	<p>【体験テーマ】 空き団地を活用した陸上養殖を理解する</p> <p>【体験の流れ】 バナメイエビが養殖されている陸上養殖場で掃除、給餌機への補充など日々の業務を体験。その後、近くの飲食店の方にエビを買ってもらえるように提案書を作成し、実際に提案を行いました。</p>



陸上養殖の説明



養殖場の業務体験



提案書作成



養殖エビの提案

2025新規

4.重量貨物輸送のお仕事



連携	(株) 上組
開催日	7/26(金)
参加人数	親子6組15名
内容	<p>【体験テーマ】 重量貨物の輸送を支える仕事を知る</p> <p>【体験の流れ】 発電所のプラントなどの重量貨物を運ぶ特殊車両ユニットキャリアを安全に動かす仕事を体験。故障がないかの点検業務と、周囲の状況を確認しながら車両を動かす誘導業務を体験しました。</p>



物流の説明



ユニットキャリア



点検業務

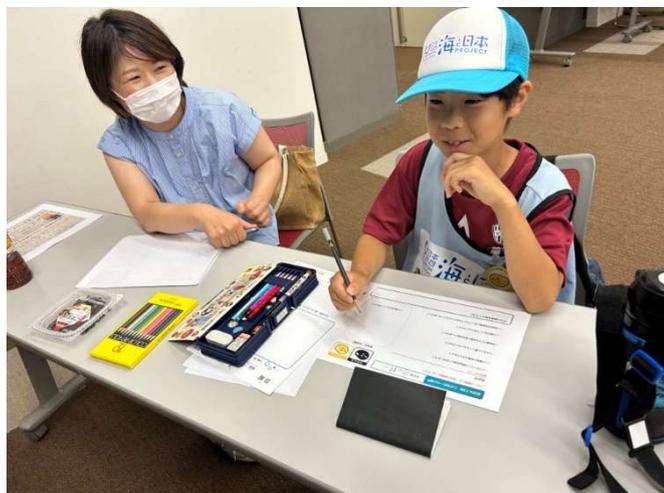


誘導業務

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

2025新規

5.昆布の商品企画のお仕事



連携	フジッコ（株）
開催日	7/28(日)
参加人数	親子11組22名
内容	<p>【体験テーマ】 昆布のをつかった新商品の企画に挑戦</p> <p>【体験の流れ】 海との関わりも深い食品メーカーフジッコで、昆布漁の現状などを学んだ後、ターゲットや解決する課題なども考えながら、個性豊かな新商品を考えて発表してくれました。</p>



会社説明



商品理解



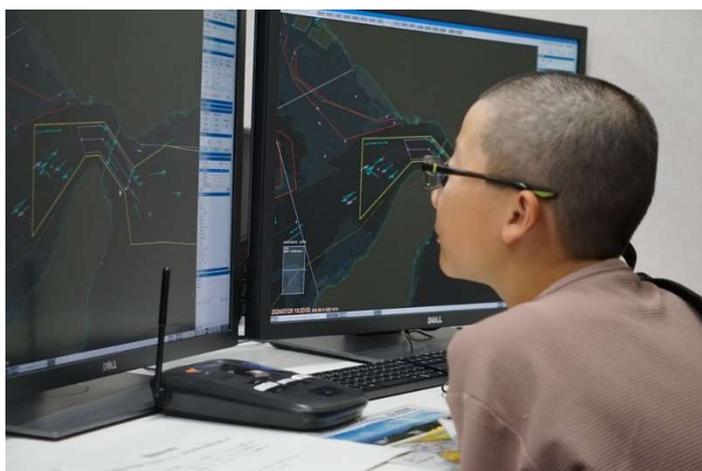
新商品の企画



発表

2025新規

6.海の管制官のお仕事



連携	大阪湾海上交通センター（マリンタクトKOBE）
開催日	8/5(月) 午前／午後
参加人数	親子8組17名
内容	<p>【体験テーマ】 明石海峡の安全を守る管制官の仕事を知る</p> <p>【体験の流れ】 船の交通量日本一の明石海峡で、船の事故を未然に防ぐ海の管制官の仕事を経験。実際の業務改善にもしようされるシミュレーターで危険な船舶の探し、無線で船に指示連絡をする業務を経験しました。</p>



海の管制業務の説明



管制室の見学



危険な船を探す



無線体験

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

7.海の未来のお仕事

2025新規



連携	古野電気（株）
開催日	8/6(火)
参加人数	親子4組8名
内容	<p>【体験テーマ】 FURUNOの一員になって海での未来の暮らしを考える</p> <p>【体験の流れ】 船の電子機器等を先端技術を研究開発する古野電気の一員となって、海での未来の暮らしを考え、一人一人がA3の絵にまとめました。最後に皆の前で発表を行い、堂々と考えた内容を説明してくれました。</p>



研修



未来都市を考える



絵にまとめる



発表

8.海の消防士のお仕事

2025新規



連携	神戸市水上消防署
開催日	8/7(水)
参加人数	親子16組33名
内容	<p>【体験テーマ】 海の安全を守る海の消防士の仕事を体感する</p> <p>【体験の流れ】 船や海沿いでの火災の消火、海難事故での救助などで活躍する消防艇。今回は、消防艇での神戸港のパトロールと、浮環などを使用した水難救助訓練を実施しました。</p>



入署式



消防艇



神戸港パトロール



水難救助訓練

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

2025新規

9.水族館飼育員のお仕事



連携	神戸動植物環境専門学校
開催日	8/11(土)
参加人数	親子15組34名
内容	<p>【体験テーマ】 生き物の命を預かる飼育員の心得を学び実践する</p> <p>【体験の流れ】 生き物の体調などを把握できる重要な仕事である餌やりを中心に飼育員の仕事を体験。生き物目線になった給餌の方法を教わりました。その後、飼育をスムーズにしたり、生き物の負担を減らすトレーニングも体験しました。</p>

10.研究員のお仕事



連携	神戸大学 内海域環境教育研究センター
開催日	7/6(土)
参加人数	親子11組22名
内容	<p>【体験テーマ】 淡路島に生息するプランクトンの生息状況を調査！</p> <p>【体験の流れ】 まずは海やプランクトンについての研修を受けてから、実際に漁港でプランクトンの採集を行いました。その後、研究センターで観察と記録を行い、プランクトンが担う重要な役割について立体的に学びを深めました。</p>

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

11.カーフェリーのお仕事



カーフェリーの学習



客室見学



救命備品の学習



車両デッキ見学

連携	宮崎カーフェリー株式会社
開催日	7/6(土)
参加人数	親子35組70名
内容	<p>【体験テーマ】 カーフェリーの船内を体験 普段見られない港の裏側を知る</p> <p>【体験の流れ】 まずはカーフェリーについてクイズ形式で楽しく学んでから、実際にフェリーたかちほに乗船！船内の客室やレストラン、車両デッキを特別に見学させていただき、普段は見ることのできない港の裏側について学びました。</p>

12.遊覧船船長のお仕事



お客様のお出迎え



見張り



船内アナウンス



レポートの作成

連携	神戸ベイクルーズ株式会社
開催日	7/15(月祝)
参加人数	親子2組6名
内容	<p>【体験テーマ】 船長になって「安宅丸」の運航を成功させる</p> <p>【体験の流れ】 安全かつ快適なクルーズを届けるために、出港前の点検、お客様のお出迎えから船内アナウンスまで、幅広く挑戦しました。なかでも船内アナウンスは、お客様に対して実際に情報をお届けしたことで、大きな達成感を感じられる体験となりました。</p>

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

13. レストラン船のお仕事



連携	株式会社神戸クルーザー
開催日	7/20(土)~8/12(月祝)の土日祝
参加人数	親子69組145名
内容	<p>【体験テーマ】 豪華客船の安全・快適なクルーズに必要な仕事を知る</p> <p>【体験の流れ】 まずは船内の設備などに異常がないかを点検して回りました。その後、実際にお客様のお出迎をし、出航合図も順番に体験！普段は立ち入ることのできない操縦室も見学させていただき、大型客船を隅々まで学ぶことができました。</p>



点検



お出迎え



操縦室見学



船についての学習

14. ライフセーバーのお仕事



連携	NPO法人神戸ライフセービングクラブ
開催日	7/23(火)、7/24(水)、7/25(木)
参加人数	親子56組116名
内容	<p>【体験テーマ】 ライフセーバーの仕事を通じて海での安全について学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 まずは、ビーチクリーンと海の状態の確認（五水チェック）をして、海の状態を確認しました。次に、応急処置の方法について学び、海での安全を守るライフセーバーとしてのトレーニングを行いました。</p>



ビーチクリーン



海の状態確認



応急処置の研修



トレーニング

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

15.おつまみの商品企画のお仕事

連携	株式会社伍魚福
開催日	7/23(火)、7/25(木)
参加人数	親子11組21名
内容	<p>【体験テーマ】 オリジナルのセット商品を企画 多くの人に届けるための工夫を学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 商品を買ってもらいたい人（ターゲット）を考えるとどこから始め、伍魚福で扱っている様々なおつまみを組み合わせるセット商品を企画しました。 その後、POPの作成や商品棚への配列など、商品を手にとってもらうための工夫も学びました。</p>



研修



商品企画



POP作成



発表

16.漁師のお仕事

連携	すまうら水産
開催日	7/26(金)、7/27(土)
参加人数	親子10組20名
内容	<p>【体験テーマ】 漁～せりまでの流れを体験 海産物が食卓に届くまでの過程を学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 かご網を使ったタコ漁のお手伝いに挑戦しました。設置したかご網からタコを受け取り、1匹ずつネットに入れる体験をした後は、市場に移動し昼市のせりでタコに値段がつけられていく様子を見学することができました。</p>



漁の仕組みを学習



かご網漁体験



タコの移し替え



せり見学

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

17.水中ロボット開発のお仕事



連携	神戸高专ロボティクス
開催日	7/28(日)
参加人数	親子12組24名
内容	<p>【体験テーマ】 水中ロボット開発（カメラ部分の耐圧試験）に挑戦し、海の中の"水圧"について学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 ロボット開発の研修を受けた後、実際に水中ロボットに取り付けるカメラが、海の中の水圧に耐えられるかを確認める動作試験を行いました。そのなかで、水圧の特徴や水中ロボットの開発上気を付けるべき点などを学びました。</p>

18.飼育・展示員のお仕事



連携	外来生物展示センター
開催日	7/28(日)
参加人数	親子10組20名
内容	<p>【体験テーマ】 飼育展示の仕事を通じて外来生物について学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 まずは飼育水槽の清掃を行い、その後外来生物に与えるための餌の準備と実際に給餌も行いました。最後に、神戸で採集された外来カミキリの標本作成にも挑戦し、外来生物について多角的に学びを深めました。</p>

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

19.コンテナ物流のお仕事



港湾の研修



操縦体験



フォークリフト乗車



物流現場見学

連携	港湾短大神戸校、商船港運（株）
開催日	7/29(月)
参加人数	親子15組31名
内容	<p>【体験テーマ】 コンテナ物流に密着 普段見られない港の裏側を知る</p> <p>【体験の流れ】 まずはじめに、コンテナの仕組みや、実際に船にコンテナを積み込むときに考えるべきポイントなどを学びました。そしてその後、実習用のシミュレーターをお借りして、ガントリークレーンの操縦を体験しました。</p>

20.釣具開発のお仕事



釣具の学習



サビキ仕掛の制作



商品テスト



発表

連携	株式会社ハヤブサ
開催日	8/2(月)、8/8(金)
参加人数	親子20組45名
内容	<p>【体験テーマ】 オリジナルのサビキ仕掛を開発 釣り場の海を守る工夫を学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 釣具についての研修を受けた後は、自分なりに針を組み合わせてオリジナルのサビキ仕掛商品を制作しました。そして、本当に魚が釣れるか商品テストも行い、仕掛ごとに釣れる魚の違いなどをしっかり考察しました。</p>

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

21.観光船クルーのお仕事



連携	神戸シーバス
開催日	8/6(火)、8/9(金)、8/16(金)
参加人数	親子9組19名
内容	<p>【体験テーマ】 船の安全・快適なクルーズを守るための仕事を知る</p> <p>【体験の流れ】 まずは、出航に向けての点検とお客様のお出迎えを行いました。その後、普段立ち入ることができない操舵室で見張りのお仕事や手旗信号の体験をし、安全・快適なクルーズを支える仕事について学びました。</p>



船について学習



船内アナウンス



操舵室の見学



手旗信号

22.岸壁調査のお仕事



連携	神戸高专ロボティクス、須磨里海の会
開催日	8/12(月祝)
参加人数	親子12組27名
内容	<p>【体験テーマ】 水中ロボットで漁港の岸壁を調査！ 海の生き物マップの作成に挑戦</p> <p>【体験の流れ】 水中ロボットで岸壁を撮影する操縦係、ケーブルを捌く係、水中ロボットの位置を用紙に記録する係に分かれて、漁港の岸壁調査を行いました。その後は、見つかった生き物をまとめてオリジナルマップを完成させました。</p>



調査（操縦係）



調査（記録係）



調査（ケーブル係）



生物マップ作成

事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

23.造船のお仕事



連携	川崎重工業株式会社
開催日	8/27(火)
参加人数	親子9組18名
内容	<p>【体験テーマ】 船の製造（造船）とそれに必要な技術（アーク溶接）を学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 鉄の板同士をつなぎ合わせるための技術“アーク溶接”の溶接作業に挑戦しました。その後、ペットボトルを使った実験で船が浮かぶ仕組みについても学び、造船になくてはならない技術を勉強しました。</p>



造船の説明



溶接体験



ペットボトル研修



船台・工場見学

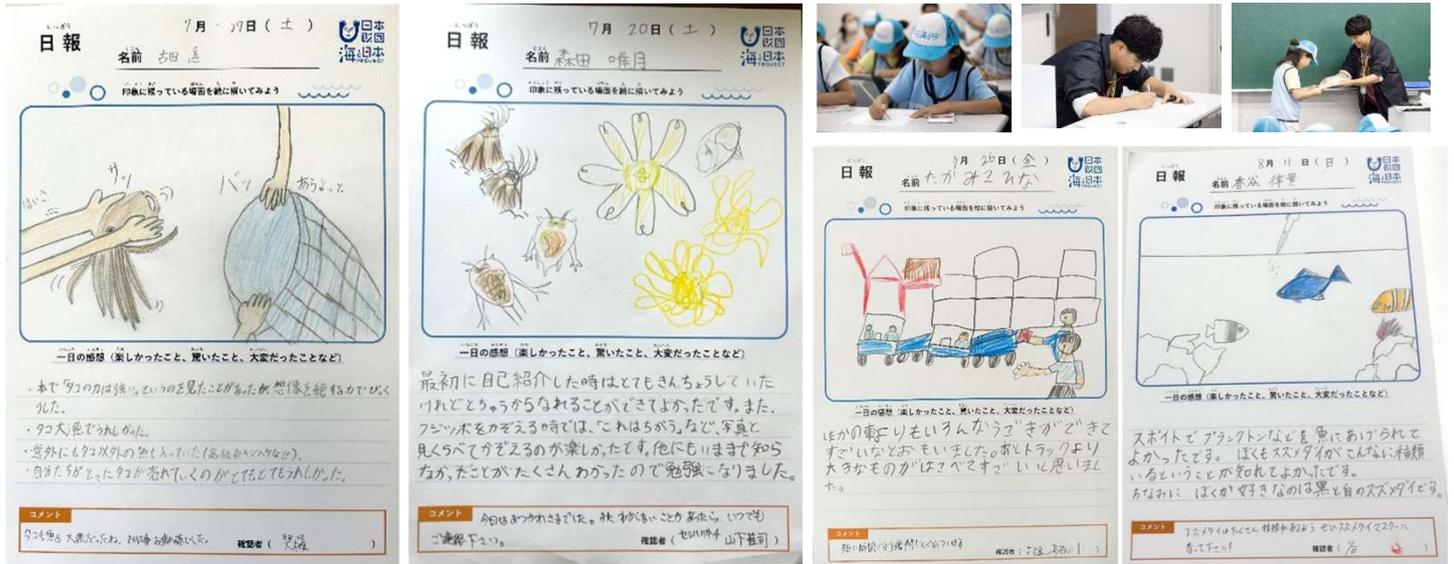


事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

参加者によるアウトプット(一部)

当日考えたことや得た学びを元にレポートや提案書などを作成。日報には仕事を教えた社員の方から子どもたち宛にコメントを入れ一人一人の思い出に。

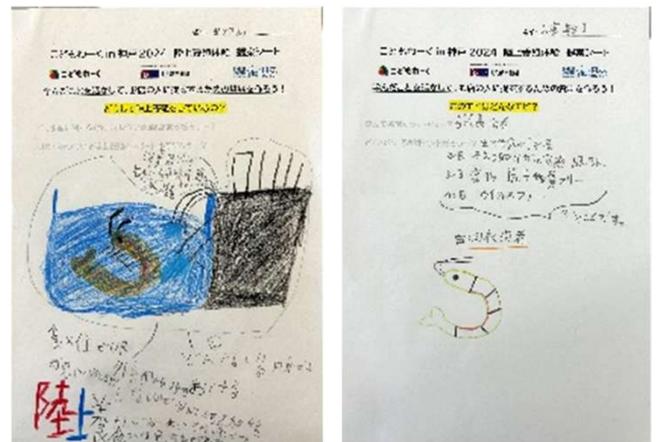
日報



海の未来に関する絵・ワークシート



養殖エビの提案資料



事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施

自由研究コンテストの実施

事後学習(自由研究)の成果をコンテスト形式で募集したところ、様々な作品を多数お寄せいただいた。一人一人の夏の学び・思い出の広がりを感じられる素晴らしい結果に。



<実施概要>

対象 2024年夏に開催された海のお仕事体験の参加者

募集期間 2024年7月20日(土)～9月23日(月・祝)

応募条件 「海をテーマにした作品」であること

応募総数 全 16 作品 ※神戸での参加者に限る

<作品介绍(一部)>

「海の消防士」のお仕事に参加した
中山 慶哉さん(6年生)
「海の消防士って聞いたことある？」

「レストラン船」のお仕事に参加した
菅原 環奈さん(3年生)
「ルミナス神戸2おしごと体験レポート」

「フジツボ・クラゲ調査」
波邊 結衣さん(3年生)
「夢の自転車」

神戸市水上消防署 前田さんからのメッセージ

神戸市水上消防署でのことわーくにご参加いただき、ありがとうございました。当日、真剣に取り組まれていましたね。自由研究では、海の消防士たちが伝えたことを分かりやすくまとめており、すばらしい内容です。写真やイラストをたくさん使っていて、伝えたことを伝える工夫がいろいろあります！立派な自由研究を作ってくれて、ありがとう！

ルミナス神戸2 航海士 塚原さんからのメッセージ

自由研究題材として、とても詳細に体験した内容を書いていただいた事、船乗りの仕事に興味を持ってもらえた事がうれしいです。お客様として、一緒に仕事をする船乗りとして、THE KOBE CRUISE におこしいただける事を楽しみにしております。

(株)セシルリサーチ 山下さんからのメッセージ

スタッフの間でも、あの子はとてもおもしろいセンスもっていたなあと話をしていました。今回も、大好きな顕微鏡を観察しながら野外へ出かけて様々な生物たちと出会う、とても独創的な絵で、大変おもしろく、感心する限りです。どうもありがとうございました。

質問受付の試験実施

公式LINEにて、プログラムに参加した子どもたちからの質問受付を試験的に実施。事業者の回答を質問者に届け、海への興味関心を増進するとともに、参加親子との関係性の深化に成功。

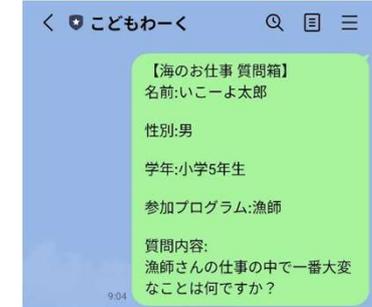
<実施概要>

対象 2024年夏に開催された海のお仕事体験の参加者

受付期間 2024年7月20日(土)～9月1日(月・祝)

質問方法 公式LINEから所定の項目を入力しメッセージを送信するだけ

質問総数 全 19 問



<事例紹介(一部)>

「漁師」のお仕事に参加した 池田 陽翔さん(1年生)

①漁師さんが須磨の海で誰もまだやったことがないサーモンを育てたり、須磨の海苔を作ろうと思ったのはどうですか？
 ②誰もやったことがないことをやったり、漁に出るときにしんどいと思ったときでもがんばってずっとできるのはどうですか？

すまうら水産有限責任事業組合 実熊さんからの回答

①須磨の海は栄養がすごく豊富な海域なので、美味しい海苔やサーモンが育ちます。そんな須磨の海の魅力をもっとたくさんの方に知ってもらい、ブランド化していきたいと思って、海苔や新しい挑戦としてのサーモンの養殖などはじめました。
 ②漁も養殖も辛くしんどい事もありますが、頑張った分の結果ができたときの喜びがあったり、海苔作りでは時間をかけて育てた海苔を食べていただけて美味しいと言ってもらえる言葉が、これからも頑張ろうと励みになります。

「水族館飼育員」のお仕事に参加した 林 美織さん(6年生)

①魚のエサ(プランクトンなど)を仕入れている場所はどこですか？
 ②展示している魚たちはどこから来るのですか？ (他 10 問)

神戸動物植物環境専門学校 谷さんからの回答

①餌には簡単に「冷凍飼料、乾燥飼料(人工飼料も含)、生の餌、生き餌」と分けることができるのですが、ほとんどは「動物の餌を専門に取り扱っている業者(メーカーや卸売り)さんや漁師さんからの購入」に頼っています。まれに野外から採集する場合もあるのですが、野生で採集したものは寄生虫や病気が紛れ込んでいることがあるので基本は使わないです。(餌付けに手こずったりする場合は頼ることも)なので水族館ではほとんどが保管のしやすさや安全面を考慮して冷凍餌に頼っている所が多いですね。※冷凍すると生物の健康維持に必要なビタミン類が破壊されやすいため餌の時にビタミン剤を一緒に与えることもあります。
 ②展示している魚たちはどこから来るのですか？→「野外採集、漁師さんからの購入や寄贈(一緒に船に乗って取りに行かせていただく事も)、専門の業者様からの購入、一般の方からの寄贈」が多いです。一番の理想は館内で繁殖して増えていく事ですが中々難しい種類もいますので、現行は上記の方法で仕入れていることが多いです。(他 10 問にも丁寧に回答いただきました！)

事業内容_2.職業啓発

小学生向け副教材「海のお仕事をもっと知ろう」



街を支える海の仕事への興味関心の入り口として、全14の仕事を紹介する副教材を制作。市のHPにてデータを公開するとともに、市内公立小学校に通う新小学3年生には冊子形式での配布を実現できた。

<概要>

名称 海のお仕事をもっと知ろう

冊子仕様 B5フルカラー・全16ページ

配布部数 14,000部(予備含む)

配布対象 神戸市内全公立小学校164校に通う新小学3年生 他



<職種一覧>

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 1 水族館の飼育員 | 8 船長 |
| 2 海上保安官 | 9 機関長 |
| 3 ライフセーバー | 10 設計士 |
| 4 漁師 | 11 造船所の工場長 |
| 5 仲卸 | 12 海洋土木工事の現場監督 New! |
| 6 通関士 | 13 水中ロボットの研究者 |
| 7 コンテナ船プランナー | 14 海藻の研究者 |

新規「海洋土木工事の現場監督」



導入ページのイラストを新規作成



裏表紙の情報を整理



事業内容_3.情報発信

WEB発信

WEB上でプログラム募集、イベントレポート、記録動画を配信。サイトの夏のPVは17.9万回以上、総ユーザーは1.2万人以上に上り、取組みへの注目度の高さが感じられた。

TOPページ

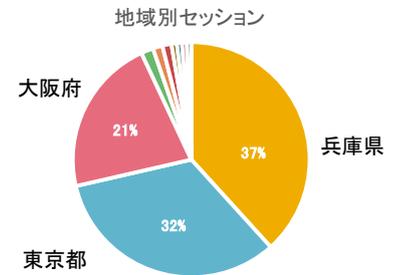


募集ページ

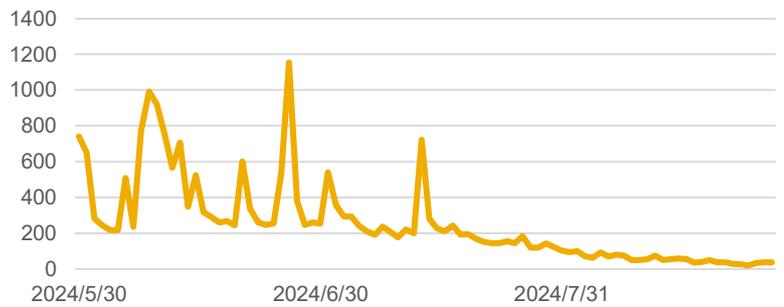


指標	数値
表示回数	179,100
セッション	22,594
総ユーザー数	12,884

※集計期間: 2024/5/30~2024/8/27

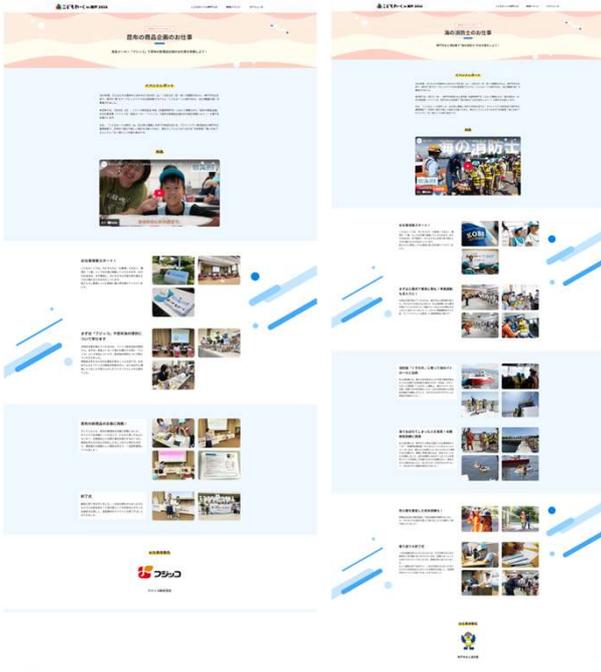


日別セッション



イベントレポート

制作本数: 全 9 本 (特設サイト上にて公開)



記録動画

制作本数: 全 9 本 (公式YouTubeチャンネル上にて公開)



他

他

事業内容_3.情報発信

ポスター・チラシ掲示

A0・A1ポスター



A4ポスター



市内各所への掲示風景

行政との密接な連携により5月～8月の期間を中心に各所へポスター・チラシの掲示を実現



事業内容_3.情報発信

メディア露出

今年度第一弾の「海上保安官」や夏の山場の一つに位置づけていた「重量貨物輸送」にて複数のマスメディア露出を実現。

6/30 海上保安官のお仕事(神戸海上保安部)

7/8放映 サンテレビ「キャッチ+



こどもわーく in 神戸2024
海上保安官のお仕事体験



こどもわーく in 神戸
日本財団「海と日本プロジェクト」の一環で愛称「こどもわーく」がスタートしてこれまでに1000人以上の親子が参加



指紋を採取する作業を体験

7/4掲載「神戸新聞」

海上保安官の仕事 児童が体験

神戸港などで9人 巡視艇の模擬操船も

小学生が海上保安官の仕事体験する催しが6月30日、神戸市中央区波止場町の神戸第2地方合同庁舎や神戸港で開かれた。神戸海上保安部所属の巡視艇「あわびり」に児童らが乗り込み、操船や鑑識作業について学んだ。

日本財団(東京)の支援を受けて神戸市などが開く職業体験企画「こどもわーく in 神戸」の一環。今夏、41回の催しが予定されている。この日は、市内などから小学5、6年生9人とその家族らが参加。海上保安官から救命や測位などの仕事について説明を受けた後、「あわびり」の船室や機関室を見学した。



船橋では、吉田友範船長(29)が航路の見方や距離の計算など、航海に必要な知識について説明。子どもたちは「面かじ」「取っかじ」など覚えだての言葉を口にしながらかじを握ったり、船の位置が示されたレーダー画面をのぞいたりして操船を模擬体験した。

蓮池小(同市長田区)5年の林空海さん(11)は「双眼鏡で遠くまで見ながら船を動かしていることがすごいと思った。ヘリコプターや飛行機にも興味を持った」と話していた。(電門和哉)

巡視艇に乗り、海上保安官からレーダーの説明を受ける子どもたち=神戸港

7/26 重量貨物輸送のお仕事(株式会社上組)

7/31掲載「海事プレス」

18 第三種郵便物認可 2024年7月31日(水) 海事プレス

小学生が重量貨物車両でお仕事体験

神戸港の上組物流センターで

小学生が港運社を訪れて重量貨物車両の操作に係る「お仕事体験」が26日、神戸港の上組ポートアイランド総合物流センターで行われた。

同企画は、子育て支援事業を手掛けるアクトインディ(東京都)と神戸市が結んだ「海洋人材の育成に関する事業連携協定」の事業「こどもわーく in 神戸2024」の1つ。「こどもわーく」は2年前から行われ、神戸市内や近郊で子供が神戸の海に係る仕事を体験することで、子供たちが「自分たちと海とのつながり」を感じてもらおうことが狙い。地域みらい創造センターが主催し、日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環として行われた。21種のプログラムが実施されている。

今回は上組の重量貨物用特殊車両「ユニットキャリア」の操作で指示を出して動かすプログラムが初めて行われた。関西から6組の親子が参加した。応募総数は54

件。はじめに上組組直者が、同社が生活などに必要なモノを運ぶ役割を果たしていることを紹介。ユニットキャリアが洋上風力装置など大型重量物を運んでいることを説明した。実際のユニットキャリアはオペレーターがリモコンで操作しており、子供たちはオペレーターに停止位置を示して、横や斜めに移動させることを行った。最後に修了式が行われた。

参加した子供は「楽しかった」との感想を述べた。上組担当者は「港運社は(一般の人との)接点が少ないので、興味や親しみをもってもらいたい。港湾は社会の一部だが、わかりにくいので少しでも知名度を広げていきたい」と話した。また「当



ユニットキャリアの動作を確認する参加者



参加者と上組スタッフによる記念撮影

社はESGに力を入れている。サステナビリティの一環としても行った」と意義を強調した。

7/30掲載「日本海事新聞」

日本海事新聞 2024年(令和6年)7月30日(火曜日)

重量貨物輸送 児童らが体験

機器移動に指示出し



【神戸市】神戸ポートアイランドの「海と日本プロジェクト」の一環として、小学生が重量貨物輸送体験する催しが26日、神戸港の上組ポートアイランド総合物流センターで行われた。同企画は、子育て支援事業を手掛けるアクトインディ(東京都)と神戸市が結んだ「海洋人材の育成に関する事業連携協定」の事業「こどもわーく in 神戸2024」の1つ。「こどもわーく」は2年前から行われ、神戸市内や近郊で子供が神戸の海に係る仕事を体験することで、子供たちが「自分たちと海とのつながり」を感じてもらおうことが狙い。地域みらい創造センターが主催し、日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環として行われた。21種のプログラムが実施されている。

今回は上組の重量貨物用特殊車両「ユニットキャリア」の操作で指示を出して動かすプログラムが初めて行われた。関西から6組の親子が参加した。応募総数は54件。はじめに上組組直者が、同社が生活などに必要なモノを運ぶ役割を果たしていることを紹介。ユニットキャリアが洋上風力装置など大型重量物を運んでいることを説明した。実際のユニットキャリアはオペレーターがリモコンで操作しており、子供たちはオペレーターに停止位置を示して、横や斜めに移動させることを行った。最後に修了式が行われた。参加した子供は「楽しかった」との感想を述べた。上組担当者は「港運社は(一般の人との)接点が少ないので、興味や親しみをもってもらいたい。港湾は社会の一部だが、わかりにくいので少しでも知名度を広げていきたい」と話した。また「当社はESGに力を入れている。サステナビリティの一環としても行った」と意義を強調した。

【神戸市】神戸ポートアイランドの「海と日本プロジェクト」の一環として、小学生が重量貨物輸送体験する催しが26日、神戸港の上組ポートアイランド総合物流センターで行われた。同企画は、子育て支援事業を手掛けるアクトインディ(東京都)と神戸市が結んだ「海洋人材の育成に関する事業連携協定」の事業「こどもわーく in 神戸2024」の1つ。「こどもわーく」は2年前から行われ、神戸市内や近郊で子供が神戸の海に係る仕事を体験することで、子供たちが「自分たちと海とのつながり」を感じてもらおうことが狙い。地域みらい創造センターが主催し、日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環として行われた。21種のプログラムが実施されている。